SQS-SE-09-0107

取扱説明書

JQA-QM8678

スーパーフォグジェッター

SFJ-3200　・　SFJ-3200W-1

R01　2012/5

このたびはスーパーフォグジェッターをお買い上げいただき

誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性格、

性能を十分ご理解の上、適切な取り扱いと保守をしていただき、

いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

ー目次—

安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様には
十分満足いただけるものと信じております。
本書に従わなかった場合、重大な事故の原因になります。

本書中、および本製品に貼付した警告表示で使用している安全標識とその
意味はつぎのとおりです。

誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は
重傷を負う可能性が高いものを示す内容です。

誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は
重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う
可能性が想定される内容および物的損害の発生
が想定される内容です。

●本書中で ⚠危険 ⚠警告 が付いた記載事項は、取扱い上特に重要な注意事項です。
注意を怠った場合には、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いので必ずお守りください。

●なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので　必ず守ってください。

当社は、あらゆる環境下における運転・点検・整備のすべての危険を予測することはできません。
したがって、本書や当製品に明記されている警告は、安全のすべてを網羅したものでは、ありません。
本書に書かれていない運転・点検・整備を行った場合、安全に対する配慮が必要です。
取扱店とよくご相談ください。

⚠危険

- 本機は業務用であり、非常に高い圧力水を発生します。すべての危険、警告、注意事項をご確認の上、ご使用ください。
- 高圧水により、人体が負傷した場合、思わぬ事態になっている事が有りますので、早急に医学的処置を必ず行ってください。
- 本機は水平な場所に設置し、動き出さないような措置をしてください。床面のしっかりした場所で、建物や、設備から１ｍ以上離して使用してください。
- 本機のまわりに引火物を置かないで下さい。また、引火物が充満するような場所で使用しないでください。
- 降雨や雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。感電や落雷の危険があります。
- 本機を使用中、異常を感じたら直ちに機械の使用を中止してください。
- 回転部分のカバー類を取り外したまま絶対に使用しないでください。
- 運転中は回転部分に絶対に近づかないようにしてください。ファンなどの回転部分に手や身体、衣服などが巻込まれて、けがをするおそれがあります。
- 本機は指定の個所で吊り上げて下さい。指定以外の個所で吊ると本機の落下につながり大変危険です。
- 本機のすべての部材は高圧力に耐える規格品を使用しておりますので、メーカー純正部品を使用してください。改造は絶対にしないでください。又、本機付属品は、磨耗や破損等が認められる場合には、直ちに当社販売店まで相談してください。

⚠警告

- 本機に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
- フォグノズル、吐出ホースなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続してください。
- 運転中は、高圧ホースを引っ張らないでください。
- フォグノズルの前方 1m 以内に人が入らないようにしてください。
- フォグノズルの出口付近は高圧水が噴霧されますので、むやみに身体を近づけないでください。

⚠注意

- 運転中は、本機のまわりをよく見て安全を確認してください。
- 吐出された水を飲用などに用いないでください。
- 衛生上、必ず水道水を使用してください。またゴミ等を吸いますと、故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながりますので注意してください。
- 工業用水、井戸水、海水など不純物の混入した水を使用すると故障の原因になります。
- 洗剤、化学薬品等は絶対に使用しないでください。
- 本機使用の推奨温度は 0℃～40℃までです。吸水温度は最高 40℃までです。
- 圧力は、出荷時に規定圧力に調整していますので圧力調整はしないでください。
- 冬期、凍結の恐れのある場合は必ず水抜きの作業を行ってください。ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。
- 冬期、水抜きを忘れ、凍結をしていると思われるときは、ぬるま湯等で高圧ポンプ及び配管ほか付属品の氷を溶かしてからご使用ください。むりに原動機を起動させますと故障の原因となりますので注意してください。
- 空運転は絶対にしないでください。通常始動後約 10 秒程度で吸水をします。それ以上(最大 20 秒間)たっても吸水しない場合は異常です。運転を中止して原因を調べてください。
- 本機の点検、整備、調整を行う場合必ず原動機を停止させ圧力を抜いた後に熱部の冷却等を確認し安全に作業を行ってください。
- 日常点検、整備を必ず行い本機を常に良好な状態にしておいてください。不具合がある状態や問題のある状態で操作すると、ケガをしたり本機が故障する原因となります。
- アスベストや危険粉塵を含む環境や放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

⚠注意

横を向いているファンを正面に向ける場合は、無理に動かさないで首振り運転をさせて戻してください。
無理に動かすと内部部品が破損する場合があります。

⚠危険

・一次側配線は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
・必ずアース線（緑色又は黄/緑）を接地してください。
・アース線をガス管に接続しないでください。火災、爆発の原因になります。
・ケーブルを踏んだりひっぱったり、上に物をのせたりせず大切に扱ってください。また、加工しないでください。火災、感電の原因になります。
・ケーブルが損傷している場合は、そのまま使用しないでください。
・本機や通電部分（各種装置、ケーブル、コンセントなど）に、高圧水がかからないようにしてください。また、濡れた手で通電部分をさわらないでください。
・電源が切られていない状態で、点検、整備をしないでください。感電のおそれがあり、非常に危険です。必ず本機スイッチを切(OFF)にし、さらに元電源を切ってから作業してください。

⚠警告

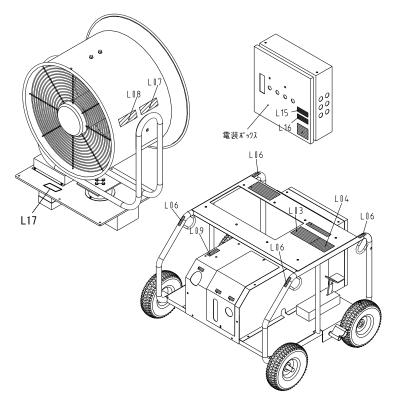
・エンジン溶接機など正弦波でない電源は、本機のタイマーや電子機器を焼損させますので使用しないでください。
・昇圧器などのトランス類は使用しないでください。故障や発火、発熱、焼損の原因になります。
・運転中、および停止直後はモータ本体や、周辺が熱くなっていますから、手や肌が触れないようにしてください。
・専用の漏電遮断器を必ず取り付けてください。
・スイッチ、又は電磁開閉器周りのカバーは、外さないでください。外す時は電源を切り、さらに元電源を切ってください。

⚠注意

・運転中、停電または故障などで電源が切れた時は、本機のスイッチを必ず切(OFF)にしてください。
・指定の電圧・周波数で使用してください。電気部品の損傷につながります。

重要ラベル

・警告表示は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しい物に張り直してください。

・安全名板の購入は、最寄りの販売店にお申し付けください。

L03 (04000920)

L04 (04000922)

L06 (04000888)

⚠注意	吊り位置

L07 (041470038)

⚠注意	運転中は本機から1m以内に近づかないでください。

L08 (04GB670093)

⚠注意	横を向いているファンを正面に向ける場合は、無理に動かさないで首振り運転をさせて戻してください。

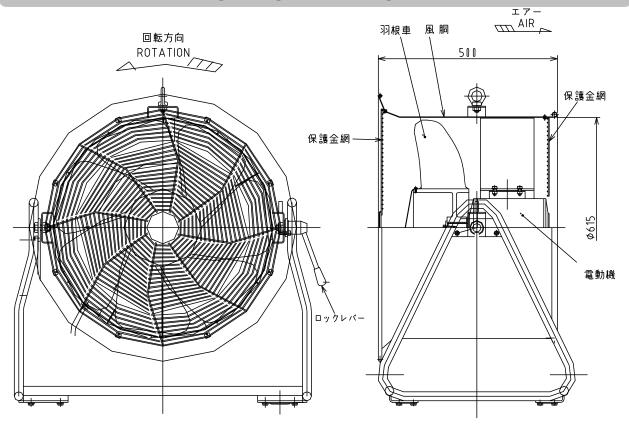
L09 (04000867)

⚠注意	ラインストレーナ清掃時カップのパッキン(Oリング)の損傷、紛失に注意してください。

L15 (04000894)

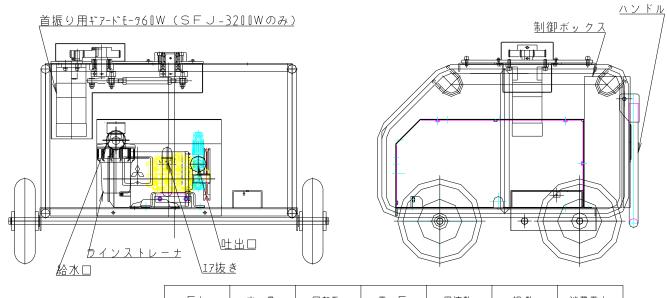
⚠危険	雨の中での運転はしないでください。

L16 (04000890)

⚠注意	必ずアース線を接続してください。

L17 (1000A1020)

⚠注意	はさまれ注意

各部の名称

口　径 DIS. BORE	風　量 CAPACITY	回転数 REVOLUTION	電　圧 VOLTAGE	周波数 FREQUENCY	相 数 PHASE	消費電力 POWER CONSUMPTION	質　量 MASS
φ615	260 m^3/min	1420 min^{-1}	AC200V	50 Hz	3 φ	1.5 kW	65 kg
φ615	320 m^3/min	1710 min^{-1}	AC200V	60 Hz	3 φ	1.5 kW	65 kg

圧力	水　量	回転数	電　圧	周波数	相 数	消費電力
4.9MPa	6.4L/min	1420 min^{-1}	AC200V	50 Hz	3 φ	1.5 kW
4.9MPa	8L/min	1710 min^{-1}	AC200V	60 Hz	3 φ	1.5 kW

仕　　様

<table>
<tr><td colspan="2"></td><td>SFJ-3200</td><td>SFJ-3200W-1</td></tr>
<tr><td rowspan="8">ポンプ</td><td>型　　式</td><td colspan="2">GSRKA3.5G22NDX</td></tr>
<tr><td>圧　　力</td><td colspan="2">4.9MPa(50kgf/cm^2)</td></tr>
<tr><td>ポンプ水量</td><td colspan="2">6.5/8.0　L/min　　　50/60Hz</td></tr>
<tr><td>回 転 数</td><td colspan="2">870/1050　min^{-1}　　50/60Hz</td></tr>
<tr><td>所要馬力</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>吸込揚程</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>接続口径</td><td colspan="2">（吸）3/4”（吐）3/8”（余）－</td></tr>
<tr><td>ノズル噴霧量</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="7">モータ</td><td>形名</td><td colspan="2">ＳＦ－ＪＲＣ</td></tr>
<tr><td>出力</td><td colspan="2">1.5kW　1450／1750min^{-1}（極数：4）　50/60Hz</td></tr>
<tr><td>定格電圧</td><td colspan="2">動力回路:200V／操作回路 200V</td></tr>
<tr><td>定格電流</td><td colspan="2">6.4/6.1A　50/60Hz（絶縁：Ｅ種）</td></tr>
<tr><td>起動方式</td><td colspan="2">じ か 入 れ</td></tr>
<tr><td>電磁開閉器</td><td colspan="2">ＳＷ－０３</td></tr>
<tr><td>キャブタイヤ</td><td colspan="2">2mm^2×4 芯×5m</td></tr>
<tr><td rowspan="8">ファン</td><td>形　　名</td><td>ｽｰﾊﾟｰｳｨﾝ SW-150B</td><td>首振りｽｰﾊﾟｰｳｨﾝ SW-150B</td></tr>
<tr><td>出　　力</td><td colspan="2">1.5kW　1420／1710min^{-1}（極数：4）　50/60Hz</td></tr>
<tr><td>定格電圧</td><td colspan="2">動力回路:200V／操作回路 200V</td></tr>
<tr><td>定格電流</td><td colspan="2">6.4/6.1A　50/60Hz　（絶縁：Ｆ種）</td></tr>
<tr><td>電磁開閉器</td><td colspan="2">SW-03</td></tr>
<tr><td>風　　量</td><td colspan="2">260/320 m^3/min　50/60Hz</td></tr>
<tr><td>口　　径</td><td colspan="2">φ615</td></tr>
<tr><td>首振りモータ</td><td>無</td><td>200Ｖｷﾞｱｰﾄﾞﾓｰﾀ 4P-60W</td></tr>
<tr><td colspan="2">寸法(L×W×H)mm</td><td>976×795×1470</td><td>976×795×1530</td></tr>
<tr><td colspan="2">重　　量</td><td>185 kg</td><td>200 kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準付属品</td><td colspan="2">本書 1 部
ﾃﾞｲﾘｰﾀｲﾏｰ取扱説明書 1 部
ﾗｲﾝｽﾄﾚｰﾅｰﾊﾝﾄﾞﾙ
ﾎｰｽﾊﾞﾝﾄﾞ D26　ﾂﾊﾞ付 NT ｾｯﾄ</td></tr>
</table>

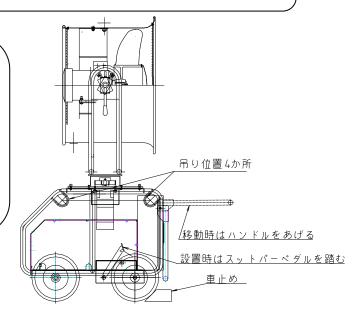
運転準備

1. 移　動

⚠危険

本機を吊り上げる際は必ず、本機上部の吊り位置 4 か所にスリングベルトを通して吊り上げてください。

⚠注意

移動・運搬時はハンドルをあげて移動してください。決してファン部分を押さないでください。内部軸部が滑り首の向きが変わります。バランスを崩すおそれがあります。
車載時は、この状態のまま走行すると風圧によりファンが破損するおそれがあります。
確実にカバーをして下さい。

2. 設置

⚠警告

- 設置する際は必ず平坦な場所に設置し、車輪にストッパーをかけ車止めをしてください。
- 雨天時は必ずファン及びポンプを停止させ、コンセントを抜いてください。感電、漏電の恐れがあります。
- 子供が本機に触れることがないよう、また事故防止の為、無人運転の際は本機から 1m 以内の範囲に人が立ち入らないよう対策を講じてください。
- 強風時は転倒の恐れがありますので、本機を使用しないでください。

⚠注意

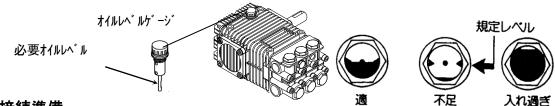
- 本機を通電の悪い場所に設置しないでください。
- 本機にビニールカバー等をかけたままでの運転はしないでください。

3. 標準付属品の確認

標準付属品が全てそろっているか確認してください。(7 ページの標準付属品の欄参照)

運転準備

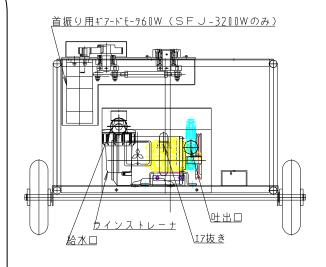
4. 潤滑油の確認

ポンプのオイルレベルはオイルレベルゲージとポンプ後方のオイルレベル窓にて
必要量が入っているか確認してください。オイルは SE 級以上 SAE10W-30 を使用してください。

5. 各ホースの接続準備

水道ホースを本機ラインストレーナの給水口に接続してください。吐出ホースのクイックカプラーを本機吐出口及びフォグリングに接続して下さい。

⚠注意

必ず水道直結にてご使用ください。本機より吐出された霧は人体に吸入されますので、水道水以外の水を噴霧すると、衛生上問題になるおそれがあります。
以下の水は使用しないでください。

例　本機タンクに１日以上貯めた水
ローリータンク・バケツ等に貯めた水
川水
工業用水
海水
60℃以上の水
洗剤を含んだ水
化学薬品を含んだ水
油分を含んだ水
不凍液　　　　　　　　など

※水道ホースを給水口に取り付ける際は、水量 10L/min 以上、圧力 0.5MPa 以下の水道水をご使用ください。また、定期的に本機ラインストレーナは清掃してください。

※フォグノズルの穴は非常に細かいのでゴミを吸いますと詰まりの原因となります。また故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながります。特に吐出ホースの脱着の際はゴミ等が入らないようご注意ください。

運転準備

6.　電源の接続

⚠危険

- キャブタイヤケーブルプラグを確実に電源に接続してください。
  緑色のアース線をアースへ接続してください。
- 電源には安全の為、ヒューズもしくはノーヒューズブレーカを使用し、必ず漏電ブレーカも設置してください。
- 一次側配線は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- キャブタイヤは無理に引っ張ったり、巻いたり、踏みつけたりしないでください。
- 通電部分（洗浄機本体、キャブタイヤ、コンセント等）に高圧水流が掛からないようにしてください。
- 濡れた手で通電部分を触らないでください。
- 配線作業は、上位遮断機を切（OFF）にして電気が来てないことを確認して行ってください。
- 配線は裸線での結束は絶対避けてください。

7.　発電機によるモータ始動

⚠注意

発電機によりモータを直入始動する際、容量に十分余力がないと、電圧ドロップを起こし、電磁開閉器の焼損や回転数が低下し能力低下、モータの焼損を起こします。
下記の発電機容量を目安として参考にしてください。

消費電力	周波数	参考容量
ファン 1.5kW 高圧ポンプ 1.5kW 首振りモータ 60W	50Hz / 60Hz	11.2kVA 以上

運転準備

⚠注意

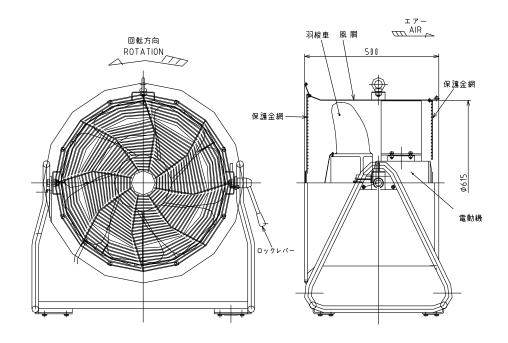
細いキャブタイヤを使用しますと電圧ドロップが起こり、始動不能、回転数の低下などの重大な故障の原因につながりますので注意して下さい。　　（下記参照）

モータ出力	定格電流 50/60Hz	標準付属のｷｬﾌﾞﾀｲﾔ	延長する場合のｷｬﾌﾞﾀｲﾔｻｲｽﾞ（延長コード長さ）
ファン1.5kW	6.4/6.1A	3C　2.0mm² x 3m	3C　2mm²（20m以内） 3C　3.5mm²（38m以内）
高圧ポンプ1.5kW	6.4/6.1A		
首振りモータ60W	0.45/0.41A		

※電圧ドロップの影響がありますのでキャブタイヤ総延長はブレーカより上記記載以内にしてください。（必ずしもコンセントからの距離とは限りません）

8.　回転方向

・高圧ポンプには回転方向はありません。

・大型ファンは右図のようになるように合せてください。もし方向が反対の時は、一次側入線Ｒ（赤）、Ｓ（白）、Ｔ（黒）はＲ（赤）Ｓ（白）ＭＰ線を入れ替えてください。
回転方向が合っているか確認してください。

運転方法

1.　運転

●エア抜きバルブを右写真のように回して開き、元電源スイッチを入れ、電源ランプが点灯していることを確認してください。「手動運転」でポンプを「入」にしてエア抜き運転を行ってください。
エアが抜ければ、エア抜きバルブはただちに閉めてください。

■手動運転
ポンプ、ファン、首振りの各スイッチを「入」にすると作動します。（主にメンテナンス時に使用）

■自動運転
ポンプ、ファン、首振り（SFJ-3200 は左右首振り機能はございません）の必要なスイッチを「入」にし、「手動ー自動」切り替えスイッチを「自動」にしてください。
24ｈタイマーで設定したスケジュールで作動します。
（24ｈタイマーの設定方法は、別紙タイマー取扱説明書参照）

⚠注意

・特にシーズンイン時（長期保管後、初めて運転する際）は配管系統のゴミを出す目的で必ずエア抜きバルブを反時計回りに回して開き、運転スイッチを「自動）に入れ水を出してください。
本体の床よりエアが抜けた後に水が出ます。15 秒程度でエアは抜けますがエア抜きコックを開いたままにすると圧力が上がらず渇水と認識し、30 秒後にモータは停止します。
（P13 参照）
・圧力は規定圧力（4.9MPa）まで上昇しますのでそれ以上に圧力を上げないでください。

運転方法

⚠危険

・正面・背面グリル（ガード）の中へ指を入れないでください。また正面・背面グリル（ガード）を外して運転しないでください。回転する羽根部でケガをする恐れがあります。

・運転する場所に子供がいる場合は、ファン、ノズルに触れることがないよう、本機周囲１ｍ以内に入れないように対策を講じてください。

・屋外での使用の場合、雨天時には必ずファンを停止し、コンセントを抜いてください。漏電・感電の恐れがあります。

2.　渇水停止装置

水の供給がなくなり圧力が立たなくなり 30 秒経つと渇水とみなし、モータが停止します。この時、渇水停止ランプ（赤色）が点灯します。制御ボックス内のブレーカを一端「切」にし回路を停止させた後、給水口から水道水を供給してください。ポンプ・ファン・首振りの各スイッチを「切」にし、ブレーカを「入」にした後、再度運転スイッチを「自動」に入れると自動運転を再開します。

3.　過負荷保護装置

サーマルリレーは異常に圧力が上昇しモータが過負荷になった場合や、電源に異常がある場合、通気の悪い場所での長時間運転などで保護装置として作動します。

3 分ほどで温度が下がりますので過負荷になっている原因を取り除き制御ボックス内の電磁開閉器リセットボタンを押してください。ポンプ・ファン・首振りの各スイッチを「切」にし、回路を停止させた後、再度運転スイッチを「自動」に入れると運転を再開できます。

電磁開閉器

リセットボタン

ブレーカ

「入」
↑
↓
「切」

使用後の取扱い

1. 使用後の取扱い

1) 停止時は首振りスイッチを「切」にし、ポンプ、ファンの順に「切」にして噴射を止めてください。

2) 水道の元栓を閉じてください。

3) ラインストレーナのカップを外しストレーナ内の水を抜いてください。
※ストレーナ内に水が残っていると藻等が発生し易くなり吸水不足となりポンプの損傷につながります。また、中のスクリーンを掃除してください。

⚠警告

・使用しない時は屋内で保管してください。本機が雨に濡れたまま使用すると漏電・感電恐れがあります。

⚠注意

・トラック等で移動する場合は必ずファンカバーをしてください。
走行時の風圧でファンの羽根が損傷するおそれがあります。
・高圧ホース、水道ホース、ラインストレーナのカップを外す時にわずかに水道圧（約5kgf/cm2)が残っています。水が一瞬吹き出ますので注意してください。

4) 使用後の保管場所が凍結の恐れのある場合、必ず以下の手順で水抜きをしてください。
①ポンプスイッチのみ「入」にし、水抜きをします。
②モータが駆動し、水抜きを開始します。水抜きは20秒以内で終了します。
③本機から水が出なくなったらポンプスイッチ「切」にしてください。
※長時間の空運転は高圧ポンプの故障の原因となります。

2. 寒冷地での保管

1) 気温が0℃以下の場合は原則として使用しないでください。凍結によりポンプが損傷します。

2) 使用後の保管場所が凍結の恐れのある場合、必ず水抜きをしてください。

⚠注意

・ホースを含む本機の水経路内に凍結が発生したまま運転しますと、必ず損傷しますので充分注意してください。

保守･点検について

⚠警告

・本機の保守・点検を行う場合は本機のスイッチを「切」にしてさらに一次側電源を切ってから作業を行ってください。

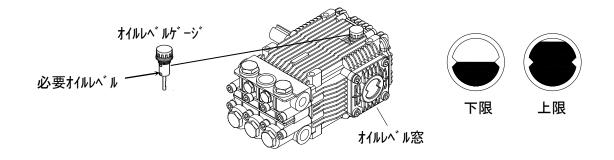
1. 高圧ポンプのオイル交換

⚠注意

・ポンプオイル交換の際は必ずスイッチを切（停止）にして、さらに一次側電源を切ってください。
・高圧ポンプの潤滑油は100時間使用（初回は50時間）、又は90日ごとに交換してください。

(1) 前面パネルを取り外してください。
(2) オイルドレンホースをポンプのクランプから外し、ポンプ位置より下に向け、オイルを抜いてください。
(3) オイルドレンホースをポンプのクランプに固定してください。
(4) オイルレベルゲージを取り外しSAE10W-30の自動車用エンジンオイル（容量：約0.5L）をオイラーで計量して入れてください。

⚠注意

・オイル交換後、オイルドレンプラグ等ポンプ底部からのオイルの漏れ、にじみなどがないか必ず点検してください。

保守･点検について

2. 電装関係の点検

（1）キャブタイヤコード、コンセント、本機制御ボックス内の端子に緩みがないか点検してください。

（2）モータ、電磁開閉器、コンセントなどが水にぬれた場合、十分に乾燥させ絶縁抵抗をチェックしてください。

（3）モータが吸湿してそうなときは絶縁抵抗が規定値以上あるかどうかチェックしてください。500V メガテスタにて 1 分間 40℃において 1MΩ以上必要です

（4）ポンプモータ負荷時定格電流値(6.1A/60Hz、6.4A/50Hz)より低い状態にしてください。もし高い場合は吐出口に圧力計を取り付け、アンローダバルブにて規定圧力まで圧力を下げてください

3. 配管・付属品の点検

⚠注意

・高圧ホース、キャブタイヤコード、吸水ホース、フォグノズル、吐出ホースなどに摩耗、破損、水漏れがないか点検してください。異常がある場合は、ただちに修理、交換してください。

4. ラインストレーナの点検

⚠注意

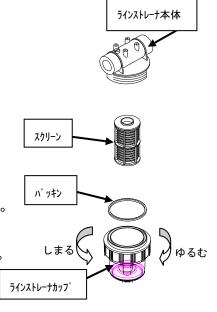
・ラインストレーナ内のスクリーンにゴミや藻が付着していないか運転前・運転後は必ず点検、清掃してください。

（1）背面下部パネルを取り外し、ラインストレーナ本体より、ラインストレーナカップを取り外します。
ラインストレーナカップは、反時計回りに回すと緩みます。

（2）ラインストレーナカップよりスクリーンを取り出します。

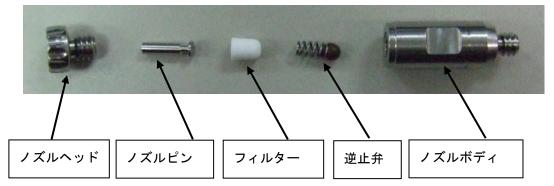
（3）スクリーンに破れ、損傷、ゴミ詰まりがないか点検します。

（4）スクリーンに破れ、損傷がある場合は交換してください。
また、ゴミなどが付着している場合は取り除いてください。特にスクリーン内側には、絶対にゴミが混入しないようにしてください。

（5）取り付けの際は、スクリーンの穴とラインストレーナ本体及びラインストレーナカップの凸部を合わせて取り付けてください。

保守・点検について

⚠注意

・ラインストレーナ清掃時、カップのパッキンの損傷、紛失に十分注意してください。
パッキンを損傷、紛失しますと空運転による重大な故障の原因となります。
運転前には、ラインストレーナカップが閉まっているか確認してください。
ラインストレーナカップが閉まっていないまま運転すると、空運転による重大な故障の原因となります。

5. フォグノズルの清掃

次の場合は、フォグノズル内のゴミ詰まりが考えられますので、フォグノズルを清掃してください。
フォグノズルは上の写真のように分解できます。
ノズルヘッドの穴とノズルピンの先端をエアもしくはパーツクリーナで清掃し、元通り組み付けてください。

（1）フォグの噴霧パターンが異常な（円すい状に出ない、均一に出ない）場合
（2）霧が全く吐出されない場合

⚠警告

・フォグノズル組付け時に必ずノズルピンを忘れずにノズルヘッドに挿入してください。
ノズルピンを忘れた場合、運転時に高圧水が直射されますので、直射水が人体に当った場合、ケガの恐れがあります。

また、本機停止時に特定のノズル先端から常に水がたれる場合は、そのノズルの逆止弁を清掃してください。
フォグノズルを清掃しても症状が改善されない場合は、フォグノズルを交換してください。

定期点検項目

点検項目	時間（各時間ごとに実施）				
	作業前	50h	100h	300h	半年
【機体】					
各部の締付点検	○				
各部の水もれ点検	○				
各部のオイルもれ点検	○				
異常音、異常振動の点検	○				
ベースとカバー等の損傷、変形の点検	○				
重要ラベル（ＰＬ）の剥がれ、汚れ、破れの点検	○				
【ホース】					
給水ホースおよびパッキンの点検	○				
ｽﾄﾚｰﾅｰ、ﾗｲﾝﾌｨﾙﾀｰ、ﾗｲﾝｽﾄﾚｰﾅｰの点検・清掃	○				
高圧ホース、カプラおよびパッキンの点検	○				
フォグノズル、フォグチューブの水もれ点検	○				
【配線】					
配線外被の損傷点検	○				
配線結束状態の点検	○				
配線端子のゆるみ点検	○				
【配管】					
中間ホースの点検	○				
アンローダの点検・清掃				●	
【高圧ポンプ】					
オイルの点検	○				
オイルの交換（初回のみ50h交換）		○	○		
バルブの点検				●	
シールの交換				●	
プランジャーの点検				●	
【モータ】					
絶縁抵抗の測定				●	
【タイマー】　電池交換　単２電池					○

＊点検の際は必ずスイッチを切（停止）にして、さらに一次側電源を切ってください。

＊上記の時間は点検の目安であり耐久時間を示したものではありません。

＊使用条件によっては表記時間より早期の点検が必要となる場合があります。

＊●は技術や専用の工具を必要としますので、お買い上げ販売店にお申しつけください。

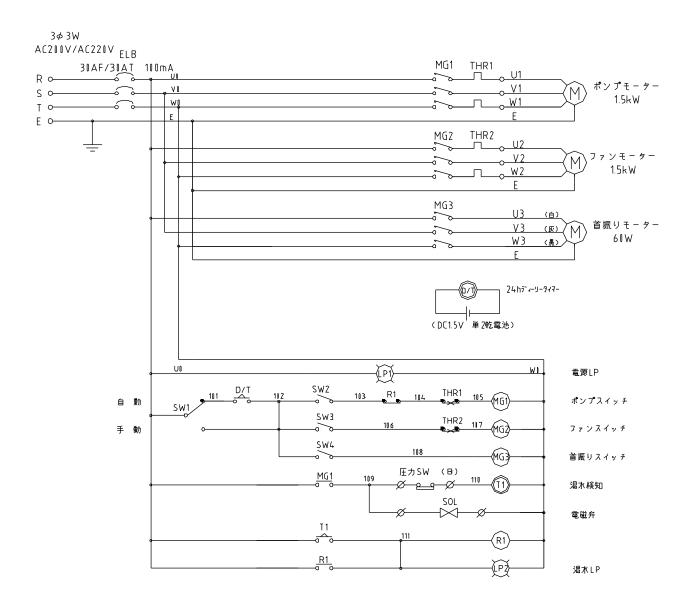
故障診断

症　　状	原　　因	対　　策
フォグノズルから霧が出ない。	フォグノズルのつまり	フォグノズルの清掃
	フォグチューブ内のエア噛み	エア抜きをする。
	水道水が供給されていない。	水道の元栓を開く。
	ポンプ内のバルブのこう着。又はゴミが詰っている。	ポンプに水道水を直結してテスト。バルブの清掃・交換。
	ポンプが空気を吸っている。	吸水口のホースジョイントの増し締め。 又は0リングの点検・交換。
	ラインストレーナ、ラインフィルタ、高圧ラインフィルタの目詰まり。	清掃又は交換。
	ポンプ内のシール・パッキンの磨耗、損傷	シール・パッキンの交換。
フォグノズルからの吐出が霧にならない。	ポンプが空気を吸っている。	吸水口のホースジョイントの増し締め。 又は0リングの点検・交換。
	ポンプ内のバルブのこう着。又はゴミが詰っている。	バルブの清掃・交換。
	フォグノズルの磨耗。	フォグノズルの交換。
	圧力調整バルブ(ｱﾝﾛｰﾀﾞﾊﾞﾙﾌﾞ)からの圧力漏れ。	圧力調整バルブ(ｱﾝﾛｰﾀﾞﾊﾞﾙﾌﾞ)の分解整備。ﾊﾞｲﾊﾟｽﾆｯﾌﾟﾙ・ﾛｰﾜﾋﾟｽﾄﾝの交換。
	ラインフィルタ、高圧ラインフィルタの目詰まり。	清掃又は交換。
フォグノズルの霧が安定しない。	圧力調整バルブ(ｱﾝﾛｰﾀﾞﾊﾞﾙﾌﾞ)のゴミ詰り。磨耗。	圧力調整バルブ(ｱﾝﾛｰﾀﾞﾊﾞﾙﾌﾞ)の分解整備。必要に応じて部品の交換。
	ポンプ内のバルブの磨耗。	バルブの交換。
	ポンプ内のシール・パッキンの磨耗、損傷	シール・パッキンの交換。
	ラインフィルタ、高圧ラインフィルタの目詰まり。	清掃又は交換。
モータが回らない。	渇水停止装置が働いた。	渇水停止ランプが点灯しているか確認。水道の元栓を開く。その後再起動する。
	・電源の不良。 ・サーマルリレーが入っている。	・電源を入れてください。(3相,200V) ・発電機の使用等で電圧降下を起こすと起動不良をおこします。又キャブタイヤコード延長等で電圧降下が起きると起動不良を起こします。 ・通気の悪い場所での長時間運転をさけてください。

電気回路図

SFJ-3200

電気回路図

SFJ-3200W-1

無料修理規定

1.保証の内容

製品を構成する純正部品に、材料又は製造上の不具合が生じた場合、この保証書に示す
期間と条件に従って、無償修理致します。（以下この無償修理を保証修理といいます。）
保証修理は部品の交換、あるいは補修により行います。また、取り外した
不具合部品はスーパー工業㈱の所有となります。

2.保証期間

保証修理の受けられる期間は製品を引き渡した日より起算し、一年間以内といたします。

3.保証できない事項

(1) 次に示すものに起因する不具合は保証修理致しません。

① 弊社の「取扱説明書」に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検方法・
禁止事項・保管方法を守らず、それが原因で生じた故障と認められた場合。

② 弊社が示す使用の限度を越える使用。

③ 弊社が認めていない改造又は変更。

④ 純正部品及び指定している油脂類(潤滑油・燃料油等)以外の使用。

⑤ 経時変化による自然変色発錆。

⑥ 機能上に影響のない単なる感覚的現象(音・振動・外観上の軽微な傷等)

⑦ 天災・地変による損傷。

⑧ 弊社以外で修理され、それが原因で生じた故障と認められた場合。

⑨ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは
保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

① 損傷部品を紛失された場合の修理費用。

② 不具合による休業保証・レンタル料・電話代等二次的損失。

③ 下記に示す消耗部品及び油脂類等。
各フィルタエレメント・ランプ・計器類・ノズル・パッキン・ゴムホース・
シール等及びこれに類する消耗部品 。

＜ご注意＞

保証の請求には、必ず本証書をご提示ください。ご提示なき場合は保証しかねる場合があります。

ご使用の前に取扱説明書をよく読んでください。

わからない事や、故障したら

●ご使用のスーパーフォグジェッターについてわからない事や故障が生じた時に、
　次の事を確認の上、販売店又は、弊社までお問い合わせください。
　（1）型式名と機番　　（2）ご使用状況（どんな時に）　　（3）ご使用時間
　（4）故障状況（水を吸わない、圧力が上がらない、モータが始動しない等）

スーパーフォグジェッター
保　証　書

このたびはスーパーフォグジェッターをお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
下記記載の製品について本書記載内容（22 ページ記載）で保証いたします。なお、この
保証書は日本国内で使用される場合に適用いたします。

機種・品番		SFJ-3200,SFJ-3200W-1
保証期間		製品引渡し日より起算し１年間
納入年月日		平成　　　　年　　　月　　　日
お客様	ご住所	
	お名前	
	電話番号	
納入店名	住所・店名 電話　　　（　　　）	

スーパー工業株式会社

本社・大阪営業所　大阪府摂津市鳥飼本町５丁目３-７
〒566-0052　TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354

大　阪　工　場　大阪府摂津市鳥飼本町２丁目２-48
〒566-0052　TEL(072)654-3990　FAX(072)653-2912

東　京　営　業　所　東京都江戸川区中央４丁目15-13
〒132-0021　TEL(03)3653-2411　FAX(03)3653-2420

名古屋営業所　愛知県名古屋市緑区野末町208
〒458-0915　TEL(052)626-3701　FAX(052)626-3702

札　幌　営　業　所　札幌市白石区菊水７条１丁目1-24
〒003-0807　TEL(011)823-3661　FAX(011)823-3666

福　岡　営　業　所　福岡県粕屋郡志免町別府北３丁目5-8
〒811-2205　TEL(092)622-6273　FAX(092)622-6279

広　島　営　業　所　広島市佐伯区五日市中央７丁目25-23
〒811-2205　TEL(082)208-4885　FAX(082)208-4886

サービス工場　大阪府摂津市鳥飼本町５丁目1-7
〒566-0052　TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354

沖　縄　駐　在　所　沖縄県那覇市首里当蔵町1-18-3
〒903-0812　TEL(098)887-0089　FAX(098)887-0089

http://www.super-ace.co.jp　E-mail:info@super-ace.co.jp